

WCHS, 2024 in Singapore 参加報告

上都賀総合病院 外科 須田光太郎

この度は WCHS Scholarship 2024 に選出いただき誠にありがとうございました。

「運命が変わるよ。」今回、私が WCHS2024 に参加するきっかけとなった言葉です。日頃よりお世話になっております、四谷メディカルキューブの今村清隆先生からいただきました。最初は「本当かな？」と不安や迷いの気持ちが強く、国際学会への参加が初めてのこともあり、前向きではありませんでした。しかし、「運命が変わる」の一言は私にとってあまりに大きく、10年に一度の World Congress とのこともあり、絶対に行かなくてはならないと、WCHS2024 への参加を決意しました。

運命が変わり始めたのは、WCHS2024 開会前日の Pre Congress からでした。私は、ヘルニア領域のロボット手術に関するプログラムに参加しました。英語が苦手であったため、こちらも参加を躊躇いましたが、今村清隆先生から後押しをいただき参加を決めました。私は少しでも体験できたらと軽い気持ちで臨みました。しかし、講師の先生方は世界でとても有名な方ばかりで、実際は、DaVinci の SimNow で高得点を出した上位数名しか体験できない内容でした。結果、私は運よくロボット手術の体験を通じて大変貴重な指導をいただくことができました。振り返れば、ここから私の運命が変わり始めました。

WCHS2024 が開会し、Poster Presentation での発表があり会場に向かったところ、Hernia Olympic 2024 の知らせを目にしました。内容は、ドライボックスとトレーニ

ングモデルを用いて、腹膜切開からヘルニア嚢の結紮処理、メッシュ展開からタッキングでの固定、腹膜閉鎖までを競うものでした。誰でも参加可能とのこともあり、参加をしたところ、運よく入賞することができ、APHS 会員証を授与いただきました。

肝心の Poster Presentation での発表は拙い英語でしたが、周囲の方々の支えもあり、なんとか乗り切ることができました。初めての国際学会での発表は、国内での発表とは全く異なる緊張感や雰囲気を感じることができ、とてもよい経験をさせていただきました。それ以上に、国内外を問わず多くの先生方と言葉を交わすことでヘルニアに対する熱い思いを分かち合い、貴重な友人や仲間ができたことは私の人生においてかけがえのない財産となりました。

WCHS2024 に参加させていただき、今村清隆先生のお言葉通り、私は運命が変わりました。この貴重な機会をきっかけに、さらに知識と技術を深め、もっと高みを目指し多くの成果をあげられるよう、これからも精進します。

最後になりましたが、日本ヘルニア学会の Scholarship に選んでいただき、このような貴重な機会を与えてくださった日本ヘルニア学会国際委員会委員長の三澤健之先生、同学会理事長の蜂須賀丈博先生をはじめ、関係者の皆様、そして、四谷メディカルキューブの今村清隆先生へ深く感謝を申し上げます。

Pre Congress にて David Chen 先生、Conrad Ballecer 先生、Filip Muysoms 先生と



Bard 主催の懇親会にて三澤健之先生、蜂須賀丈博先生と



四谷メディカルキューブの今村清隆先生と

